

発行：
山古志木籠ふるさと会
会長：松井 治二
発行年月日：
平成22年11月30日



木籠ふるさと便り

10月23日震災記念日 郷見庵竣工式

みなさん本当にありがとう

6年前の地震直後、誰が今の私達の姿を想像できたでしょう。こうして木籠の地で笑顔でいられると、集落の誰が考えることができたでしょう。たくさんの方が助けてくれた、励ましてくれた、応援してくれた、そして木籠に足を運んでくれた。そんな全国各地の一人一人の方々に私たちは心から「ありがとう」を伝えたい。

「今私達がこうして暮らすことができるのは、決して私達だけでできることではなかった。ここに集まった人たち誰1人欠けても、今日一日中、あちらこちらで頭を下げてまわっていました。そしてニコニコと秋晴れにたたずむ郷見庵を見上げていました。

今まで力添えをしてくださった誰1人が欠けても今日という日は迎えられなかった。だから私は本当に一人一人全ての人にありがとうございましたとお伝えたいのです」と木籠区長松井治二さんは今日一日中、あちらこちらで頭を下げてまわっていました。そしてニコニコと秋晴れにたたずむ郷見庵を見上げていました。



【竣工式後、郷見庵前で...沢山のカメラマンに囲まれて】

「木籠の人々は、
傷ついたふるさとに寄り添って
暮らす事を選んだんです」

「6年前の今日もこんな晴れた日でした」最後の山古志村村長、長島忠美議員はこう話し始めました。「あの激しい地震の揺れに耐えた自分の家が“今日は10cm沈んだ、また今日は20cm沈んだ、何とかしてくれ村長さん”と毎日私のところに通ってくる木籠の人々。私はその願いをかなえてあげることができなかった。水の中から家を守ってあげることができなかった。本当に申し訳なかったです。」と頭を下げる村長の姿に胸が詰まりました。

「避難指示が出ている中“俺たちは自分の家族を助けに入るのだから止めるな”と牛たちに餌をやりに行く彼らを、避難指示を出した私自身が止めることができませんでした。ただ、皆が無事に帰ってきたときは、必ず一番に私のところに連絡をしてほしいとお願いして皆の無事を祈るしかなかったです」「彼ら」とはこの松井区長さん達のことだったのでしょうか。このリーダーはいつも静かにニコニコしながらできないことをやってのけてきた、みんなをいつの間にかその気にして動かしてしまうのです。

「傷ついたふるさとの近くに寄り添って暮らしていくことを木籠の人たちは選びました。“千年続いたこの村を、もう千年続けていくんだ”そうみんなで思いを一つにした。だから手をさしのべる人たちがこんなにたくさん集まった。」

この日、木籠集落に足を運んでくださった方々は70人とも80人ともいわれました。その後も郷見庵を訪れてくださる方は後を絶ちません。私達は千年続く日本のふるさとになります。人々が集い、腰を下ろし、そして語らう場となりたい。来ていただいた方々に“元気のお返し”をしていきたい。今まで私達が頂いた元気をこれからずっといつまでも。

●ごあいさついただいた皆様●

湯沢砂防所長 萬徳昌昭様
新潟県知事 泉田祐彦様(代読 鈴木政義様)
県地域振興局長 鈴木政義様
長岡市市長 森民夫様(代読 副市長 大野勉様)
県議会議員 星野伊佐夫様
市議会議員 五井文雄様
衆議院議員 長島忠美様
市議会議員 関正史様
山古志支所長 斉藤隆様



【長島忠美元山古志村村長と松井治二木籠区長】

郷見庵は大にぎわいでした

ふるさと会芸能部デビュー



【練習の成果！息もピッタリそろっています】

五穀豊穡の舞



お揃いの手作り衣装も目をひいて、
花々しくデビューしました！



木籠住民もにこにこ(^v^)



今日は来賓受付係→

キマッテルでしょ

5分前



↓餅つきは木籠の恒例イベント

みんなで歌おう！ 山古志の歌



「がんばろうて
山古志！」
みんなで歌ったら、思わず
ホロリ。でも勇気が湧いてく
る。まだまだがんばれる気
持ちになる。



仮設で出会ったおばあちゃん、浅染
さんが忘れられなくて、仙台から駆けつ
けた志保さん。
サンシンで弾いてくれた「ふるさと」をみ
んなでうたいました。



おら家の野菜

金もうていいんか？

直売所を始めてみよう、仮テントに初めて野
菜を並べた日の話だ。

「朝、おら家の畑から父ちゃんが採ってきてくれ
た野菜、軽トラに乗せて持ってきたども、恥ずか
しくて恥ずかしくて、売りもんです」なんて言
われんかった。軽トラに入れたまんま、どうしよ
かどうしようかと思つて、うろうろしてたて。そ
したら通りがかった人がさ、「売り物ですか」つ
て声かけてくださったの。「父ちゃんが朝採つて
きたもんですけども・・・」て言ったら、「売つ
てもらえますか？」ていうてもらった。そんで
初めて売ることができたんだよね。」

郷見庵の直売所は都会の人から見たら、何とも
不思議な光景かもしれない。そこに店番らしき人
達は居てにこにこしているけれどレジが無い。値
段も様々だ。（安いことは間違いない）貯金箱み
たいなものがあちこち置いてある。これがレジな
のだ。

もともと木籠の人達にとって「野菜を売る」と
いう概念は無い。木籠の人にとって野菜とは、
自分が毎日食べるものを畑で作っているだけ。沢
山採れたらみんなで分けて、採れなかったらご近
所から分けてもらう。

「郷見庵でちゃんとお店をするには、みんなが持
ち寄った野菜の価格表でも作らんといいんのか
な？」

「家のはそんげ高く売らんねえよ」「家のはこ
んげちつちえしカツコも悪いて」「朝採れた菜っ
葉を夕方まで売るのは申し訳ねえからできねえ
よ」持ち寄る野菜も様々なら、それぞれの気持ち
も価格表みたいに一律にはならないだろう。

「自分たちの殻に合わせた場所にすればいいて」
区長さんがつぶやいた。木籠らしさをそのまま
に、木籠の人達の思いに正直に、郷見庵はその営
みをはじめた。

郷見庵に足を運んでくださった方々には「木
籠の暮らし」の空気を少しだけ感じていただい
たら幸いだ。



1階 直売所

- ・新鮮野菜（季節の旬野菜）
- ・山古志特産品（カグラナンバン味噌、マコモダケ煮付、ヤーコン茶など）
- ・木工細工（うつわ、壁かざりなど）

2階 震災復興資料館

- ・木籠集落の震災前から震災直後、そして現在までの6年間の軌跡
- ・写真・新聞記事・ビデオ上映など
- ～2階から旧木籠集落を一望できます～

今後の予定（12. 1. 2. 3月）

12月中旬

蕎麦打ち

1月上旬

さいかみ 賽の神・もちつき

2月中旬

どぶろく作り

3月中旬

エコバック作り

参加ご希望の方：詳細は区長さんまたは事務局
までお問い合わせください。（連絡先は4面）

雪が深くなります。おいでの際は十分お気を付
けていらっしゃるようお願いいたします。

案山子コンクール ～山古志ウオークでおもてなし～

案山子コンクールにむけて今年もそれぞれ個性いっぱい案山子作り
に工夫をこらしました。果たして優勝はどの案山子に・・・？



【龍馬とお龍】



【ゲゲゲの鬼太郎】



【イモト製作中…】



【それぞれ我が子のような案山子と記念撮影】

9月18日の山古志ウオーキングには木籠経由のコースには約300人の参加者が訪れました。木籠でのおもてなしは、ふるさと会、木籠住民の頑張りにより参加者から大好評を頂きました。「木籠の休憩所で食べたぜんまいの煮物が忘れられなくて参加したんです」という方もいらっしゃるほどです。案山子人気投票にも186名(県内133名、県外53名)の方から投票を頂き、ありがとうございました！

- | | | |
|-----|---------------|---------------------|
| 第1位 | ゲゲゲの鬼太郎ファミリー | 69票 |
| 第2位 | 龍馬とお龍 | 46票(内1票は静岡からのネット投票) |
| 第3位 | ナースのお仕事 | 27票 |
| 第4位 | AKB48 | 21票 |
| 第5位 | 演歌のアイドル さくらまや | 13票 |
| 第6位 | 珍獣ハンター イモト | 11票 |

抽選を行い5名の方にふるさと会が刈るコシヒカリを脱穀後プレゼント！

抽選の結果 県内3名(新潟市、見附市、長岡市各1名)、県外2名(宮城県、福島県各1名)の方が当選いたしました。



「沢山の投票ありがとうございました。来年もまた木籠でお待ちしております」

稲刈りに奮闘 ～雨のなかがんばりました～

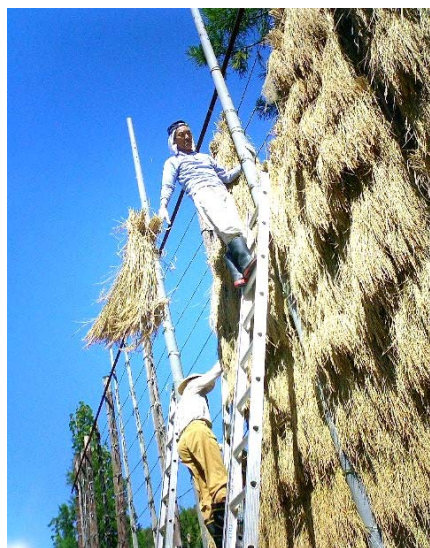


収穫の一番の楽しみは稲刈り！ところが今年9月23日はあいにくのお天気でした。でもさすがはふるさと会。“やっぱりこの手で刈り取りたい”と大勢の方が来てくださいました。足場も悪く、時間がかかりましたが、ずぶぬれ、びしょぬれ何のそのっ！泥んこになりながら、何とか刈り終えることができました。本当にお疲れさまでした。



←くんと束ねるのが難しい！ ↑みんな、来てくれてありがとう！！

晴天！脱穀日和 ～はざかけのお米は格別です～



【稲穂の見張り番 AKB48】

雨の中刈り取られた稲は、案山子コンクールの AKB48 が見守る中、見事に乾燥。10月2日晴天。はざから下ろして脱穀作業を行いました。はざの上からかぼ～んと投げられた稲は、下でお母さん方が見事にキャッチ。軽トラでぶ～んと脱穀広場へ。乾いた稲から舞うほこりで白く煙る中、手際良く流れ作業で次々に脱穀が行われます。秋晴れの中お昼を食べて、作業続行。おいしいお米がみなさんのもとへ届きますように。

【←はざから稲下し ↓脱穀作業】



こどものお母さん、ちまき作りの先生になる

8月22日、ふるさと会のメンバーの勤務先で地域交流のための「チマキ作り」をすることになりました。

地域の子供からお年寄り、障害を持つ方々も大勢参加します。

ところがチマキを作る職員はほんの数人。

「そうだ！木籠のお母さんたちに先生になっていただく！」

急な相談にもかかわらず、“木籠いきいきサロン”の婦人5人が長岡・摂田屋のサポートセンターに駆けつけてくれました。

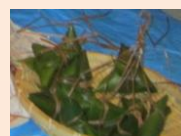


木籠のお母さんたちならチマキ作りはお手のもの♪
その見事な手さばきに若いパパママもみとれてます
夏休みの小学生も一生懸命“先生”に教わりながら
初めての三角チマキ作りに挑戦しました。



いきいきサロンの皆さんのおかげで交流会は大盛會にとなったのです。

そして、その元気な姿が参加者に感動を与えてくれました。（ふるさと会 金井さんからの
1日ボランティア、お疲れ様。そしてありがとうございました。 レポートでした）



山古志木籠ふるさと会 募集



〔木籠の御神木 夫婦けやき〕

山古志・木籠地域の伝統、文化、暮らしを継承し、
地域の振興と発展に寄与することを目的とします。

集落活動や農作業・山仕事を通して共に働くことの
素晴らしさを実感し、豊かな自然の恵みを楽しむ元気な
村づくり、「千年続く日本の故郷」づくりをめざします！
遠くにいても、近くにいても、山里の暮らしを感じ、
木籠の応援団になって一緒に楽しみませんか



「日本の故郷 地震で洗んだ村
皆の力でここによみがえる 山古志木籠」

- 特典：**（１）「会員証」の交付
（２）「山古志木籠ふるさと便り」毎号郵送
（３）こどもカレンダーをお送りします。

年会費：（個人）年額 2,000 円、（団体）年額 10,000 円（何名様でもOK!）

お申し込み方法：下記連絡先のどちらかに入会する旨をお知らせください

入会に際しお問い合わせ等ありましたら、お気軽にご相談ください。

■山古志 木籠集落 区長 松井治二

（FAX／電話）0258-59-2180

■山古志木籠ふるさと会 事務局 担当：石井秀次

（Eメール）cid85830@syd.odn.ne.jp

入金方法：郵便振替又は、現金申し込みになります。

郵便振替方法：現金又は、郵便貯金口座から下記口座へのお振替となります。

（現金の場合）郵便局窓口で「電信払込み請求書・電信振替請求書」にご記入お願いします。

※その際「お受取先口座番号」の『CD/再発行』欄は無記入で結構です。

（ゆうちょ銀行の口座をお持ちの場合）郵便局のATMからお取り扱いできます。

振替口座：ゆうちょ銀行 記号：11220 番号：25565141

口座名義人 山古志木籠ふるさと会（ヤマコシコゴモフルサトカイ）